

北葛だより

みっちゃんの宅配便

今井光子の県議会だより

日本共産党奈良県議会議員団

奈良市登大路町30奈良県議会内 Tel 0742 (27) 5291

今井 光子 広陵町馬見北3-4-25 Tel&Fax 0745 (55) 8725



今井光子のホームページ

今井光子

検索

奈良県はお金がないわけではありません。 県民に寄り添う気持ちがないのです。

予算の0.9%でたくさんの願いが実現できます

共産党県議団が総額47億円の予算組み替えを提案

2月定例県議会（予算議会）最終日の本会議、3月16日、共産党県議団は議案提案権を活用して予算組み換え提案をおこないました。

今井光子議員が提案しました。

見通しもはっきりしないリニア中央新幹線の開通を見越した無駄な大型事業「リニア3点セット」（①リニア中間駅誘致、②リニア関空転落鉄道新線、③建設残土を利活用する2000m滑走路建設）を見直し、大和平野中央田園都市構想、京奈和自動車道路大和北ルート、平城京利活用、県民合意が得られない不要不急の事業を見直し、廃止して捻出した財源21億円を、この間、県政暮らしのアンケートなどで寄せられた要望実現に振り分け、17事業の49億円の事業を増額、新規事業として提案しました。

暮らし、子育て応援17事業

県議団が提案した主な事業は次のものです。

- ☆子どもの医療費助成事業の18歳まで対象拡大、窓口無料化と、福祉医療（障害者、重度障害者、一人親家庭の医療費助成）の窓口無料化（7億円一現行の事業に追加）
- ☆大学生向け給付型奨学金制度の創設（1億2千万円）
- ☆後期高齢者医療保険料負担軽減補助（1億円）
- ☆国民健康保険の窓口負担軽減（1億円）
- ☆介護保険利用料負担軽減のための基金創設（1億円）
- ☆生活保護の啓発（「しおり」）発行（100万円）
- ☆高齢者の補聴器購入支援制度（5千万円）
- ☆再生可能エネルギー普及推進制度（4億円）
- ☆学校給食奈良県産食材（利活用）推進事業（2420万円）
- ☆物価高騰対策として中小企業・小規模事業者事業継続支援（1億7700万円）
- ☆商店街リニューアル事業（1億円）
- ☆住宅リフォーム助成制度（1億円）
- ☆小学校6年まで35人学級実現のための教員増（6300万円）
- ☆小中高生が年1回は演劇鑑賞・文化活動支援事業（1600万円）

☆予備費（6753万円）

一般会計の0.9%を変えれば、このようにたくさんの願いが実現できます。

残念ながらこの提案は否決されましたが、やればできることを具体的に示すことができました。

討論

一般会計当初予算案他8議案に反対

大型開発の無駄遣い、人件費削減、ワーキングプアの会計年度任用職員の増加、長期病休者の激増、時間外勤務最長192時間。職員の増員こそ求められます。



予算組み替えを提案する
今井光子県議

日本共産党提案

物価上昇にみあう年金支給額の改善を求める意見書を全会一致で採択

日本共産党提案の「物価上昇に見合う高齢基礎年金等の支給額の改善を求める意見書」が、維新の3人の議員が退席しましたが、全会一致で可決しました。

コロナ禍、物価高騰が高齢者の生活を直撃しています。年金は引き下げではなく、

引き上げこそ必要です。高齢者、年金者の切実な願いの実現を求めるもの。年金者組合から県議会に意見書採択の要請が出されていました。

予算組み替えの作業をしました。予算書とにらめっこの日が続きます★不要不急の事業を見直し、県民合意のない事業をやめて、そこに国庫補助があればお返しして、県で負担する分を減らします。一般会計当初予算は5329億円★137億円分（2・6％）の事業を見直し、そこから捻出できた21億円（0・4％）を現事業に追加したり新規事業を提案し、総額49億円（0・9％）になりました★とても楽しい作業です。特に力を入れたのが奈良県の仕事おこしや困ったに寄り添う予算の組み替え提案です★生活相談では年金が少なく、保険料を払うと生活保護基準以下に。ところが周りの目、それだけ嫌、ということが伝わればもっと安心して暮らせる社会に★生活保護は生活に困った人はだれでも申請できます、のポスターを作って貼ります。少額の財源で可能ですが★県政が変われば暮らしが変わります。あなたがい県政になるよう頑張ります。

みっちゃん

大軍拡より生活、子どもの未来を守ろう 女性地方議員有志30人「国際女性デーアピール」

今井光子県議の提案で、県内のすべての女性議員に呼びかけ、3月8日の国際女性デーにあたり、女性議員アピール「大軍拡より生活・子どもの未来を守ろう」を発表しました。

県内の女性地方議員は73人。短期日のうちに、日本共産党や無所属の女性議員30人（41、0%）が賛同。女性地方議員有志30人連名で公表しました。

アピール全文は以下の通り。

「大軍拡より生活、子どもの未来を守ろうアピール」

岸田政権の大軍拡政策により、周辺諸国との緊張が高まり、大軍拡に走れば、豊かになるどころか日本と世界を滅ぼす道になります。

今こそ軍事に進む政治から脱し、生活と平和を守る政治が必要です。

私たちは、奈良県の地方議会にかかわる女性の立場から、国内総生産（GDP）比2%の軍事費を撤回し、歯止めなき大軍拡をやめて、女性や子ども、若者社会的弱者のための政治を進めることを求めます。

アフリー化を進める必要があるかどうか。

政策統括官 1日の乗降客が1206人 国のエレベーターエスカレーターなど基準1日3000人以上に満たず、福祉基準3000人～2000人にも満たしていない。今後の必要性は理解できるが順番は遅い。

今井 待ったなしの高齢化、スロープなど何とか支援できる方法を検討してほしい。

文教暮らし委員会

高校入試の在り方について

今井 高校入試制度が2回選抜から1回に変更になる。これは生徒に何度も落第の経験をさせるべきではない、入試の為に何度も時間をとることは学校側も負担になると改善を求めてきたのでよかったが、中学1年からの内申が評価されることに不安の声。たとえば不登校で内心に評価がつかない生徒はどうなるのか。

高校の特色づくり推進課長 どの子ども安心して受けられるよう選抜方法を変えていきたい。不登校で評価がつかない場合でも昨年度は対象者68名が受験して58名が合格している。

委員会審議から

地域公共交通対策特別委員会

タクシーの時間について

今井 「タクシーの最終時間がわからず、来るとして待っていたが来なかった」と苦情が寄せられた。タクシー乗り場でわかるようにしてほしい。

担当課長 タクシーは人手不足で厳しい状況。業界にはこのような声があったと伝えます。

鉄道路線を守るためにこそ予算を使うべき

今井 鉄道開業150周年の年 全国の鉄道網の半分以上が路線の在り方の検討対象になっている。奈良県は対象路線はないが、JRが民営化になり儲かる路線が赤字路線を支えてきた構造が変わって地方の切り捨てがおきている。

ドル箱だったJR東海もコロナで赤字。リニアについても2027年までに名古屋まで通す見込みが全く不明。今こそ鉄道の線路は国の責任で安全を保障して、上を走らせるのは各地の企業というような上下分離方式が必要ではないのか。

見込みのないリニアに莫大な投資をするのではなく全国の路線を守るためにこそ予算を使うべき。県としてどう思うのか。

政策統括官 （全く返事なくただ頭を下げるだけでした）。

佐味田川駅のバリアフリー化

今井 階段があり、高齢化が進み利用できないという声。があるバリ

就学援助制度の普及を

今井 就学援助は、義務教育は無償ということから始まった制度。制服や、学用品、給食費、通学費などに支援ができる制度。奈良県は12%の活用、全国平均は14%もっと知らせる必要がある。

沖縄県では県のホームページで就学援助を知らせて各自治体とリンクしている。またきれいなビラ【参考：右写真】を全児童生徒に配布して普及を進めている。奈良県も市町村の制度というのではなくもっと知らせるべき。

高校の特色づくり推進課長 大事な制度であり県としてももっと工夫をして活用できるようにしていきたい。



通学費について

今井 総務省の生活時間の調査で奈良県の高校の通学時間は「94分」で全国トップ。通学費も負担が大きい。

高校再編で「大宇陀高校」になることで「榛生昇陽高校」の福祉課の生徒が宇陀まで通わないといけなくなる。実習も移動が必要になる。片道440円のバス代がかかる。支援が必要。

教育長 保護者会がバスを購入してそれを使って実習など必要な異動は行えるようにしていく。

今井 県の学生寮も今は南部東部の生徒しか利用できない、北部の生徒が東部南部に行くのに使えるようにするべき

教育長 コロナで一人一部屋になっている、コロナが終息すれば条例変更も検討したい。

県政暮らしのアンケートに寄せられた声届けました

近鉄
交渉

近鉄駅 ダイヤ等利便の向上を



今井光子県議は太田あつし県議、宮本次郎元県議とともに3月6日、県政暮らしのアンケートなどで寄せられた近鉄線の駅やダイヤなど利便の向上を求める声を近畿日本鉄道に届け、トイレの水洗化、無人駅の解消、券売機の増設、踏切の安全対策などを求めました。また、車内や駅等での痴漢被害根絶の対策推進を求めました。

近鉄からは、トイレの簡易水洗化を進めているなどの回答がありました。

引き続き、実現できるよう頑張ります。

要望書を手渡す今井議員